

各位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ B O X # 0 6 0 1 （訂正版）

プロイメンド点滴静注用の配合変化について

選択的 NK₁ 受容体拮抗型制吐剤「プロイメンド点滴静注用 150mg」（小野）は、本剤投与後、同じルートから抗がん剤等を投与した場合に、「ルート内で白濁した」「ルートが閉塞した」という事例が 7 件報告されました。

本剤は、現時点で抗がん剤との配合試験を実施していません。配合試験で検討していない薬剤（特に抗がん剤）、もしくは既に配合変化が確認されている薬剤を同じルートから投与する場合は、生食等によるフラッシュを実施する等、直接接触しないよう対応をお願い致します。

また、本剤は、乳酸リンゲル液等、2 価の陽イオン（Ca²⁺、Mg²⁺等）を含む溶液は配合直後に、「ソリター T3 号輸液」（味の素）や「アロキシ静注 0.75mg」（大鵬）は配合 1 時間以降に、白濁又は分解物の増加が認められているため配合不可となっておりますので併せてご注意下さい。

【今回配合変化が報告された薬剤】（当院採用薬品）

- ・ドキシソルビシン塩酸塩注射用「NK」
- ・エピルビシン塩酸塩注射液「NK」
- ・エピルビシン塩酸塩（凍結乾燥）注射用「NK」
- ・レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」

オーダ名	プロイメンド点滴静注用 150mg
成分名、規格	ホスアプレピタントメグルミン、150mg／バイアル
適応症 用法・用量	抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）（遅発期を含む）： 他の制吐剤との併用において、成人には 150mg を抗悪性腫瘍剤投与 1 日目に 1 回 、点滴静注 本剤 1 バイアルを 5mL の生食で溶解し、最終容量が 100～250mL となるように生食で希釈 。抗悪性腫瘍剤の投与 1 時間前に 30 分かけて 点滴静注
採用区分	注射



* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。